

発行—2016年3月1日

<http://gdtk.lib.gunma-u.ac.jp>

編集—群馬県大学図書館協議会「会報」編集委員会 前橋市荒牧町4-2(群馬大学総合情報メディアセンター内) TEL.027-220-7173



CONTENTS

■ 研究会報告 平成27年度第1回大学図書館研究会	2
■ トピックス	3
■ 編集後記	6

研究会報告

大学図書館研究会・群馬県図書館協会専門研修 (群馬県大学図書館協議会・群馬県図書館協会 共催)

○平成27年度第1回

テーマ：「人と本が会うための環境づくり」

日 時：平成27年9月15日（火）13時30分～16時00分

場 所：群馬大学 大学会館ミュージズホール、総合情報メディアセンター中央図書館

参加者：67名（大学図書館30名、公立図書館17名、学校図書館20名）

講 演：「BACHの考える本の差し出し方」

有限会社BACH代表 幅允孝 氏

【概要】ブックディレクターの幅允孝氏を講師に迎え、「人と本が会うための環境づくり」について考える。「本棚をつくる」「ライブラリをつくる」というBACHの仕事の紹介を通して、「BACHの考える本の差し出し方」を知る。本を選ぶとき、本を差し出す時には「人と勧めたい本を結ぶ結節点をつくる」ことが必要であり、インタビューを重ねることで相手を理解し、結節点となる本に思い至ることができる。本棚を編集するときには、①セグメントの再編集、②そのものを置く環境を編集する、③細やかな慮りで差し出す、④意外性と身体性の4点に留意している。第2部のワークショップでは、群馬大学総合情報メディアセンター中央図書館に会場を移し、本棚作りの講評（ワークショップ）を行う。



（会場：群馬大学）



（講演の様子）



（講評の様子）



【参加者の意見等】「楽しかった」「とても参考になった」という感想が館種を問わず寄せられ、受講者の満足度は非常に高かった。「幅さんのお話が聞けて良かった」「幅さんの情熱が伝わってきました」という感想にあったように、ブックディレクターとして著名な幅氏の講演内容は非常に興味深く、会場は幅氏の話に引き込まれた。第2部のワークショップも、「普段やっていることに近い実例を交えて解説してくださり、勉強になりました」など、より身近な例を示しての講評とアドバイス、また講師と受講者の距離が近い会場も好評であった。

トピックス

東洋大学板倉図書館

朝カフェ

実施期間：7月13日（月）～17日（金）、20日（月）～23日（木）の9日間

提供時間：8：30～10：00

利用者数：延べ630名

「朝時間の有効活用」と「図書館利用促進」という目的で実施しました。図書館内1F「アクティブ・ラーニング・エリア」にて実施したことで、教員が実験室の学生と一緒に参加しコーヒーを飲みながら各自が作成したパワーポイントデータをスクリーンに映して、ミーティングをする光景も見られ、「アクティブ・ラーニング・エリア」本来の役割が果たされていました。また、定期試験が近いこともあり学生同士で集まって朝カフェに参加し、そのまま館内で勉強するケースも多く見受けられ、「朝時間の有効活用」と「図書館利用促進」という目的も達成できたと感じました。



（注）「アクティブ・ラーニング・エリア」…2015年3月に1Fの一部を改装して、可動式の机・椅子・ホワイトボード・スクリーンを設置し、グループ学習等で利用者が自由にレイアウトできるエリアとなっています。

伝統と先進の[技]から未来を想像する

従来図書館は「静かに勉強をする」場所であったが、現代社会において求められている能動的学修（例えば「グループ・ディスカッション」などを中心とした対話型学修）を可能にするスペースとして「アクティブ・ラーニング・エリア」を設置したことから、この新設スペースの認知度を上げていく手段のひとつとして文化・芸能のイベントを実施しました。

No	内容	日時	出演者	出席者数
1	落語	4月22日（水） 12：40～13：10	三代目桂やまと氏	61名
2	GOSPEL	6月11日（木） 12：40～13：10	Eyes	34名
3	ACOUSTIC LIVE	10月22日（水） 12：40～13：10	yaszen	33名
4	CHRISTMAS GOSPEL LIVE	12月17日（木） 12：40～13：10	Eyes (+Compass of Voice)	35名

※No. 4…本学学生サークルでアカペラを行う活動をする「Compass of Voice」とのコラボレーション。



No.1 落語



No.2 GOSPEL



No.3 ACOUSTIC LIVE

No.4 CHRISTMAS GOSPEL
LIVE

トピックス

東洋大学板倉図書館

トークイベント

個性豊かな企業のトップをお呼びして、知的好奇心やチャレンジの精神についてご講演いただくことで、学生が自ら考えて行動することの重要性を理解し、日々の学習や研究、就職活動の場において意識しながら実践していく一助となることを目的に実施しました。

No	テーマ	日時	講演者	出席者数
1	想像力が生み出す力	5月22日（金） 15：00～15：50	長岡路恵氏（株式会社ミラクルソリューション代表取締役社長）	20名
2	好奇心とイノベーション	7月15日（水） 15：00～15：50	角谷昌彦氏（株式会社やおきん代表取締役社長）	83名
3	食と健康	10月6日（火） 11：10～12：00	辻智太郎氏（もうやんカレー株式会社代表取締役社長）	32名
4	挑戦することから始まる	11月10日（火） 11：10～12：00	原田宗一郎氏（ハラダ製茶株式会社代表取締役社長）	35名



No.1 想像力が生み出す力



No.2 好奇心とイノベーション



No.3 食と健康



No.4 挑戦することから始まる

トピックス

育英短期大学図書館

「豆本展」を開催しました

10月23日（金）～11月27日（金）、はんこと和紙を活かした作品や製本を手掛ける「山猫や」を主宰している、群馬県在住の豆本作家、木月禎子氏作の豆本約40点と豆本の版木1点を展示して、「豆本展」を開催しました。また、10月24日（土）の桔梗祭（学園祭）では、木月氏による来場者の方を対象にした体験企画、「豆本作り実演」を行いました。

ひとつひとつ丁寧に手作りされた豆本作品は、驚くほど精巧で可愛らしいものばかり。展示を見に来てくれた学生や学園祭の来場者の中には、豆本を初めて見る方も多く、皆さん興味深げに見入っていました。



豆本展



豆本『和菓子』春夏版



豆本作り実演

トピックス

群馬大学総合情報メディアセンター
中央図書館

選書ツアーを実施しました

本学では初めてとなる選書ツアーを、紀伊國屋書店前橋店（けやきWALK前橋内）で行いました。当館ではこれまでも、学生選定キャンペーンという形で年2回学生の皆さんから図書館へのリクエストを募集していましたが、年々応募数が減っていること、実際に手にとって本を選んでもらうことで新しい出会いを体験して欲しいということで、選書ツアーを実施することになりました。参加者からは、今まで読んだことのない本を選べた、とても楽しかったとの感想が聞かれ、盛況のうちに終わりました。選書ツアーで選ばれた図書は、大好評貸出中です。来年度も実施する予定です。

今回のツアーは、開催内容は下記のとおり。

日 時： 11月11日（水） 14：00－16：45

参加人数： 14名

選定冊数： 176冊（うち、重複を除いた162冊を購入）



選書の様子



選ばれた図書



ツアー本の展示

荒牧祭特別企画

12月12日（土）～13日（日）に実施された荒牧キャンパスの学園祭「荒牧祭」にて、特別展示と資料無料配布会、県立図書館との共同展示を行いました。当館では、新田岩松家から寄贈された新田文庫を所蔵していますが、この中に、新田家4代の当主が描いた粉本（下絵）約1300点があります。今回は、この中から「猫」に焦点を当て、「殿様が描いた猫」をテーマに猫の絵（猫絵）を展示しました。学びのリテラシー2の授業で猫絵について調べた学生が作成した掲示資料と発表、猫絵の人気投票、今回の展示に併せて作成した猫をモチーフにしたオリジナルバッグの配布等を行い、たくさんの人に足を運んでいただきました。

今回初めて実施した不要資料の無料配布、群馬県立図書館の出張展示も、好評のうちに終えることができました。



オリジナルバッグ



特別展示



無料配布会



県立図書館出張展示

トピックス

群馬大学総合情報メディアセンター
医学図書館

生まれ変わった医学図書館

群馬大学総合情報メディアセンター医学図書館は、ラーニングコモンズ「プラティア」の整備が完了し、資料を中心とした旧来の図書館から学生がにぎやかに集う新しい図書館へと生まれ変わりました。様々な形状の可動式テーブルとイス、ホワイトボードに加え、プロジェクタやスクリーンを備え、少人数でのミーティングやプレゼンテーションの練習になくてはならない空間となりつつあります。もちろん、学生であればWi-Fiも利用できます。

さらに今年度は、閲覧室の整備も進みました。無駄の多かった4人掛けテーブルを1人用のキャレルに入れ替え、24時間じっくり自習に集中できる環境を整えました。また、長年のリクエストに応え、座り心地の良いイスも用意しました。加えて、全てのフロアに設置されたLED照明は、目に優しく明るい図書館を演出しています。

医学図書館は地域の皆様にも開放しておりますので、前橋にいらした際には、ぜひ一度足をお運びください。



ラーニングコモンズ「プラティア」



閲覧室

患者さんのところ

医学図書館の1階にはライブラリー「患者さんのところ」という図書コーナーがあります。闘病記、介護記、ホスピス緩和ケア関連図書、介護施設の指導記録、医療事故及び倫理学関連図書などを収集しています。

医学生は、本ライブラリーを活用することにより、「患者さん中心の医療」とは何かを自ら学ぶ機会を得ることができます。

また、一般にも公開していますので、患者さんやそのご家族、医療・介護施設従事者及び将来医療・介護施設で働くことを目指す学

生さんも利用することができます。

ライブラリー「患者さんのところ」には、ロゴマークがあります。

双葉マークは患者さんのところがわかる良医の育成を、白地は人と人が手をつないでいる様子を表わしています。

このロゴマークは図書の背に貼られており、ライブラリー「患者さんのところ」の図書であることが一目でわかるようになっています。興味をお持ちの方は、ぜひ医学図書館にお越しください。



ロゴマーク



患者さんのところコーナー



所蔵リストをホームページで公開しています。
<https://www.media.gunma-u.ac.jp/collections/kokoro.html>

トピックス

群馬大学総合情報メディアセンター
理工学図書館

工学部創立100周年記念展示「10日間限定！百年モノのお宝公開」を開催しました

理工学図書館では、工学部創立100周年記念行事に合わせ「百年モノのお宝公開」と題して、理工学図書館にて所蔵している卒業アルバム、戦前の資料などを公開展示しました。10月9日～18日までの短い期間ではありましたが、200人以上の方に手にとって見ていただけました。

工学部ということもあり、戦争中に出版されたものは化学兵器などに関する資料もあったので、学生にとっては興味深いものだったようです。

また、卒業生のために卒業論文や修士論文も閲覧できるように案内しました。懐かしそうに手に取り眺めている方もいらっしゃいました。

理工学図書館では所蔵している資料を、一般の方に公開できるチャンスがあまりないのですが、今後も機会を見て披露していきたいと思います。



展示の様子

ラーニングコモンズの愛称・ロゴが決定しました

理工学図書館はリニューアルオープンして2年が経過しましたが、ラーニングコモンズには愛称やロゴがありませんでした。そこで、理工学府及び理工学部の教職員・学生から募集して「Ricommo (リコモ)」という愛称を決定しました。理工の「リコ」とコモンズの「コモ」を合わせています。

また、ロゴについても愛称と同様に募集した結果下記のロゴが決定しました。とても可愛らしく親しみが持てるロゴです。今後、理工学図書館ラーニングコモンズはRicommoとしてよろしくお願いいたします。



編集後記

9月の研究会での幅氏の講演は、本と人への想いが伝わる内容で、共感することしきりでした。また、幅氏の人にも本を届けるアイデアの数々には、大変刺激を受けました。無限の可能性をもつ本の魅力を、いかにして伝えていくか。図書館の空間を活かして、足を運んでもらえる魅力ある場所にしていくにはどうしたらよいか。日々考え、試みを続けていきたいと思っています。